

10. 教員免許状更新講習

教員免許状更新講習の企画・運営・実施にあたって、当全学教職センターがその統括業務を担っており、各学部の事務担当責任者、個別の講習担当講師との連絡・調整を行いながら、講習リーフレットの作成や、Webによる受講申込み手続きの処理、教室の割り振り等の運営業務を行っている。

本年度の講習の概要を以下に報告する。

(1) 講習日程（実施期日）

	必修講習	選択必修講習	新課題講習	新展開講習
第Ⅰ期	6月22日(土)	5月26日(日)	6月9日(日) 16日(日) 23日(日)	6月9日(日) 16日(日) 23日(日)
第Ⅱ期	8月3日(土) 17日(土) (筑西地区会場) 8月24日(土)	8月4日(日) 18日(日) (筑西地区会場) 8月28日(水)	8月19日(月) 20日(火) 21日(水) 22日(木) 23日(金) 26日(月) (筑西地区会場) 8月27日(火) 29日(木) 30日(金)	8月19日(月) 20日(火) 21日(水) 22日(木) 23日(金) 26日(月)
第Ⅲ期	10月19日(土)	10月27日(日)	12月21日(土) 24日(火) 25日(水)	12月25日(水)

(2) 開講科目と受講者数

①必修講習

講習科目名	開講期	受講人数
教育の最新事情	全期	777名

②選択必修講習

講習科目名	開講期	受講人数
学校をめぐる近年の状況の変化と危機管理上の課題	I・II期	99名
法令改正・審議会等の状況と「チーム学校」による組織的対応の考え方	I・II期	39名
主体的・対話的で深い学び／対話のある授業をつくる	I・II期	101名
ソーシャルスキル教育	I・III期	87名

②選択必修講習（前頁から続く）

講習科目名	開講期	受講人数
教師・学校と親・家庭及び地域の連携及び協働	I 期	45名
教育の情報化 I	I・II 期	62名
教育相談の基礎	II 期	55名
総括的・形成的評価を考える/英語技能統合型(技能統合型)指導	II 期	16名
外国にルーツを持つ児童・生徒に対する日本語教育・学習支援	II 期	51名
学習指導要領改訂に伴う学校と社会との連携	II 期	44名
カリキュラム・マネジメントの理論と実践	II 期	14名
現代キャリア教育理論と教育実践	II 期	8名
考え、議論する道徳授業のあり方	II・III 期	117名
多文化教育について考える：外国につながる児童生徒の現状と課題を通して	II 期	31名
教育の情報化 II	III 期	8名

③新課題講習

講習科目名	開講期	受講人数
発達障害の二次障害に対する理解と支援	I・II 期	112名
食教育	I 期	17名
学級経営の視点から見た教育問題への対応	I 期	36名
電子メディアの教育活用	I 期	22名
身体コミュニケーション&コーチング	全期	127名
「今、ここ」から学ぶカウンセリング	I 期	29名
インクルーシブ教育の理念と動向	I 期	38名
アクティブ・ラーニングによる道徳授業	I 期	29名
子どもの体力づくり/心身のコンディショニング	I 期	37名
相手の世界に近づくフィールドワーク	I 期	30名
子ども論 I 教師の存在から考える	II 期	50名
心を育てるグループワーク	II・III 期	51名
昆虫の細胞の多倍数化とステロイドホルモン研究の最前線	II 期	11名
児童生徒の命を守る学校防災	II 期	39名
水の利用と環境/作物の育種と世界	II 期	26名
特別支援学校の授業づくり	II 期	50名
アクティブ・ラーニングの実現に向けた授業づくり	II・III 期	53名
現代社会と道徳教育	II・III 期	65名
発達障害の理解と支援	II 期	240名
公衆衛生	II 期	40名
子ども虐待の予防と防止/子どもの貧困問題について考える～いま危機に直面する福祉国家と次世代の再生産	II 期	40名

特別支援教育における心理・生理アセスメントの活用	Ⅱ期	39名
--------------------------	----	-----

③新課題講習（前頁から続く）

講習科目名	開講期	受講人数
授業研究の課題と方法	Ⅱ期	40名
子ども論Ⅱ いじめ・不登校から考える	Ⅱ・Ⅲ期	129名
幼児教育の可能性を探る	Ⅱ期	79名
アクティブ・ラーニングによる地域教育教材のあり方	Ⅱ期	10名
教育相談 ～不登校を中心に～	Ⅱ期	50名

④新展開講習

講習科目名	開講期	受講人数
保健体育総論／柔道の学習指導	Ⅰ期	5名
発話の背後にある意味を探る／English Teaching Techniques (英語授業の手法)	Ⅰ期	10名
小学校プログラミング教育	Ⅰ・Ⅱ期	57名
幼児教育の現状と課題	全期	167名
言語活動と語彙／言葉を理解すること	Ⅰ期	16名
身近な化学；化学と環境と生活など	Ⅰ期	6名
量子論入門／素粒子論入門	Ⅰ期	4名
城下町・水戸の地理・歴史を学ぶ	Ⅰ・Ⅱ期	72名
解析学のトピックから／幾何学の話題から	Ⅰ期	16名
バレーボールの学習指導／陸上運動の学習指導	Ⅰ期	14名
英米文学・文化事情の理解と英語教科書の活用（アメリカ文化 /イギリス文化）	Ⅱ期	34名
総合的な学習の時間の指導法	Ⅱ期	38名
養護教諭の組織行動論／健康相談理論及び方法	Ⅱ期	14名
小学校英語教育	Ⅱ期	24名
新学習指導要領に基づく数学科の指導	Ⅱ期	30名
デザインの展開／造形活動（彫刻）の展開	Ⅱ期	13名
ダンス・表現運動の学習指導／水泳の学習指導	Ⅱ期	11名
学習指導要領の改訂と歴史学習／日本史の最新研究と学習内容	Ⅱ期	31名
離散数学の話題から／三角形・四角形の対称性と群	Ⅱ期	14名
ソルフェージュ／編曲法	Ⅱ期	12名
技術科の指導と評価／材料と加工の技術（木材）／材料と加工 の技術（金属・プラスチック）／生物育成の技術	Ⅱ期	10名
言語活動と語彙/文学性を育む国語教育	Ⅱ期	25名
初等理科教育の現状と課題及び小学校理科の授業づくり／ESD (持続可能な開発のための教育) と防災教育	Ⅱ期	13名
持続可能社会における衣生活分野の教育	Ⅱ期	12名
生体リズムと心身の健康／幼児期における科学的教育	Ⅱ期	49名

「環境のとらえ方」を考える／地球表層環境の変遷	Ⅱ期	16名
-------------------------	----	-----

④新展開講習（前頁から続く）

講習科目名	開講期	受講人数
図画工作・美術科の新展開	Ⅱ期	22名
発声法と歌唱／楽しくためになる歌唱指導	Ⅱ期	30名
言葉を楽しみ言葉を磨く国語科の授業づくり／書字に関する学習指導を考える	Ⅱ期	40名
小学校プログラミング教育の指導と評価／ビジュアル・プログラミング／アンプラグド・プログラミング／フィジカル・プログラミング	Ⅱ期	8名
技術科・工業科・情報科の指導と評価／エネルギー変換の技術（機械）／エネルギー変換の技術（電気）／情報の技術	Ⅱ期	12名
家庭経営をめぐる諸課題と家庭科の指導	Ⅱ期	6名
生体リズムと心身の健康／再生医療とゲノム編集	Ⅱ期	12名

以上のとおり、Ⅰ期からⅢ期まで、計23日の講習を実施した。講習科目数は104科目（複数回数含む）で、受講者の延べ人数は3,886名（昨年度（5,852名）より33.6%減）であり、受講者のほとんどが各科目の評価基準を満たして講習修了を認定した。

終了後の受講者アンケートでは、各科目における講習内容については概ね好評であり、「教育現場が直面している問題に対し、なぜこうなってきたかを学術的に説明していただき大変興味深く受講できた」「前回から10年間の間の社会事情から見た教育界の変化を、講義で確認することができ、よく分かりよかったです」などの感想が見られた。一方、講習全体の運営面に関しては、「家から遠いので、学校内に食事を買えるコンビニ的なものがあると良い」「生協が閉まっていたのは残念でした」「今日は、お昼を食べるところが教室しかなく、ラウンジとか解放されていたらよかったですな、と感じました」などの要望事項もあった。そうした要望事項への対応に関しては、講習の実施時期との関係で難しい面もあるが、次年度以降の運営に際して検討していきたい。